

社会起業家54人

おいしい・おしゃれで社会貢献
働き方・教育・医療・格差・言論

山中教授の危機管理
東方神起 復活ライブ

昭和63年6月10日第3種郵便物認可
2018年2月5日発行
毎週月曜日発行(1月29日発売)
通巻1662号

'18.2.5

No.5

定価 390円

アエラ

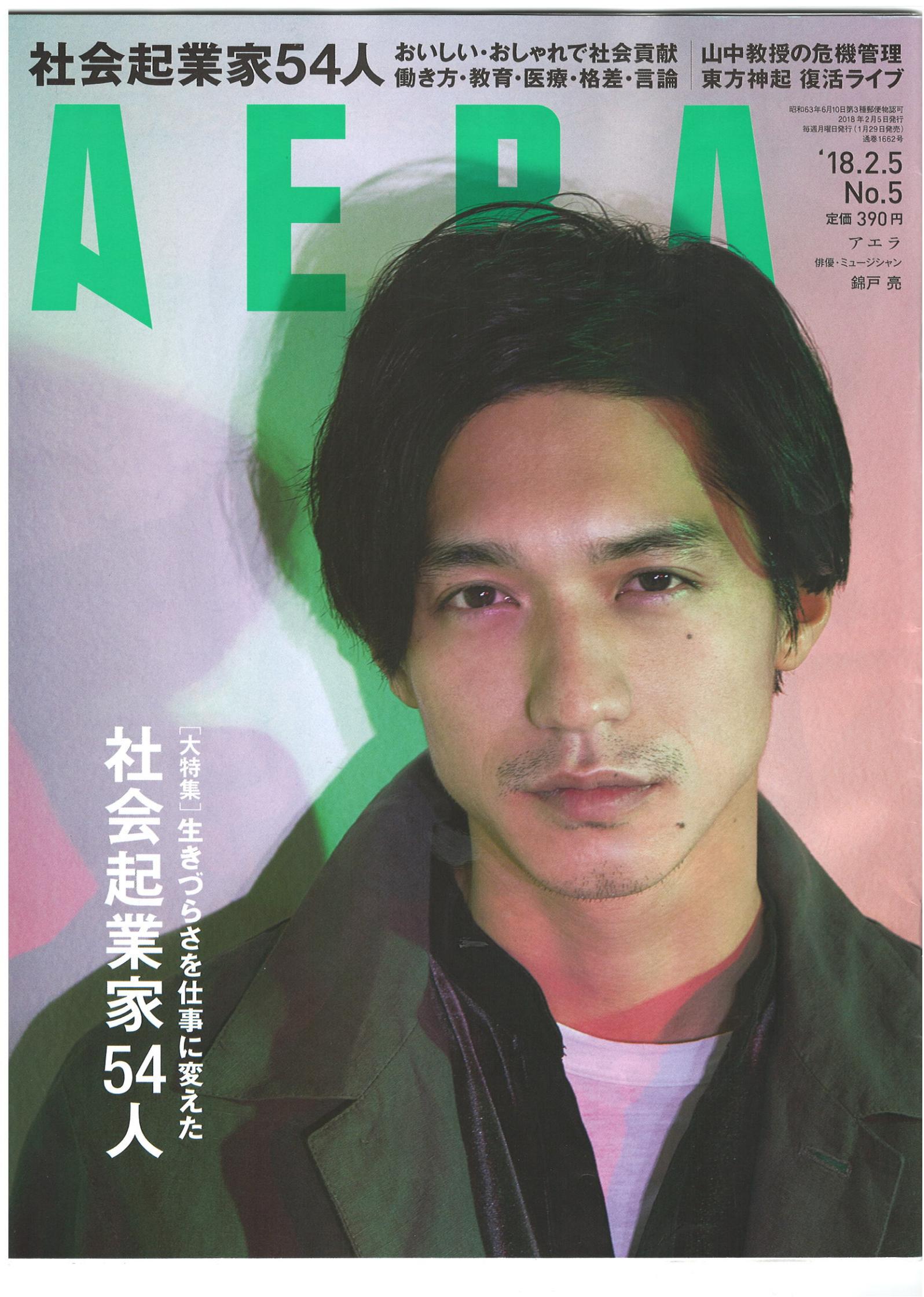
俳優・ミュージシャン

錦戸亮

A E R A

社会起業家54人

【大特集】生きづらさを仕事に変えた



子どもたちにもたたちに発信の場を

「民のノウハウ×官のデータ」が教育の力になる

世界的に見ても自己肯定感が低いとされる日本の子どもたち。大人は「もっと自分を信じて」と教えるが、大人は子どもたちを信じているだろうか。虐待もいじめも生きる力も、まずはそこからだ。

ライター 澤田 憲

女子中学生が、生まれたばかりの赤ちゃんを恐る恐る抱き上げる。その様子をかたわらで心配そうに見つめる友人たち。

行動を起こす原動力

代表の安部敏樹さん(30)によ

「でも温かいよ。命って感じ」
彼女らは、東京に修学旅行に
来た北海道の中学生。東京の助
産院で助産師や赤ちゃん和交流
できる「スタディツアー」に参

加した。リディラバが企画した
ものだ。
れば、社会問題の現場を訪ねる
スタディツアーの目的は大きく
二つ。一つは原体験と言えらるも
のをつくることだ。
「当事者の話を聞いたり、手触

りのある体験をしたりすること
が、社会問題に対して行動を起
こす原動力になります」
もう一つは、課題設定能力を
養うこと。

「同じホームレス支援でもその
方が抱える問題によって、必要
なものが食料だったり家だった
り医療だったり、まるで違っ
てきますよね。与えられた課題

を解決するより、何が課題なの
かを自分の目で見て考えること
のほうが重要だと思っんです」
フードロスや障害者の就労支
援、地域医療の現場など、多彩
なツアーを実現できるのは、日
頃から各地で課題解決に取り組
むNPO法人や企業と協力関係
ができてくるからだ。

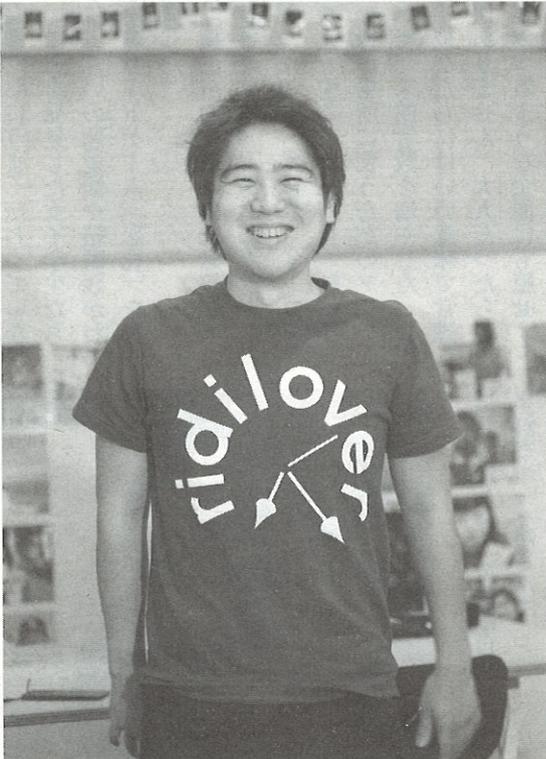
安部さんは言う。
「われわれは、あらゆる社会問
題にアクセスするためのプラッ
トフォーム的存在なんです」
世間の社会問題に対する「無
関心」を打破するにはどうした
らいいか。考える中で、ツアー
化することを思いついたという
安部さん。今後多くの学校が

導入予定で、2018年は3千
〜5千人の子どもたちが参加す
る予定だという。
企業や自治体と共同で商品や
サービスを開発することで、子
どもたちの目を開かせよう、と
いう取り組みもある。

NPO法人ハナラボは、横浜
市や島根県海士町あまちょうなどの自治体
から、富士通などの企業まで、
官民間わずさまざまな組織から
依頼を受けて、社会的課題を解
決してきた。

その主役は女子大学生。ハナ
ラボ代表の角めぐみさん(48)は
言う。
「彼女たちの適応力や感受性、
共感力の高さは、既存の社会問
題にこれまでにないアプローチ
の解決策を提案してくれま

す」
例えば、海士町から「未婚の
男性が増えているので、何か手
が打てないか」という相談があ
ったとき。ヒアリングで、海士
町の男性たちの魅力や価値観が



安部敏樹[30]

一般社団法人リディラバ
／東京都文京区
社会問題に対する世の中の
「無関心」を打破するため、
2009年に、全国各地で社会
問題の現場を訪ねる「スタ
ディツアー」を開始。学生向
けツアーの「教育旅行」や、
社会問題の現状を発信する
「TRAPRO」も運営

女性たちにうまく伝わっていないことを発見した女子学生たちは、互いの恋愛観や結婚観がわかるカードゲーム「恋札」を開発した。

横浜市の大佛次郎記念館のPR事業では、大佛次郎が愛妻家だったこと、館内が「インスタ映え」することに着目。結婚式の撮影場所に使うなどのアイデアで、来館者数を増やした。

「彼女たちにはいい意味で常識がありません。大人だったら戻込みするような企画にも臆せず挑戦して、成功させてしまう力をもっているんです」

角さんがハナラボの活動を始めたのは、いまの社会に女子学生たちが潜在能力を発揮できる場が少ないと感じたからだ。

「いまの子どもは自己肯定感が低いといわれていますが、それは大人が子どもたちの力を軽んじていることにも原因がある。



角 めぐみ [48]

NPO法人ハナラボ／東京都中央区

「社会課題の解決を通じて女子学生の創造力やリーダーシップを育む」ことを目指す。自治体と連携した地域課題解決のためのプロジェクトや、企業と連携した商品・サービスの共同開発なども



森山 誉恵 [30]

認定NPO法人3keys／東京都新宿区

虐待や家庭環境が原因で社会的孤立を深める子どもたちの支援を目的に設立。児童福祉施設の子どもを対象とした学習支援や、悩みを抱える10代のための相談サイト「Mex」の運営もやっている

信じて頼れば、自信は自然と育まれます」(角さん)

逆に学校教育の現場では、「子どもが大人を頼れない」ことで、深刻化している問題もある。虐待やいじめだ。

ハードルを低くする

3keysでは、16年4月に10代向けの相談・支援サイト「Mex」を立ち上げた。家庭問題やいじめ、不登校、性被害、

自殺など、悩みに応じた専門機関の連絡先を150ほど集めたもので、子どもたちは自分に合った支援サービスに電話やメールで相談することができる。

毎月の訪問者数は1万人ほど。これまでに4千件以上の相談があったという。「死んでしまいたい」「学校に行きたくない」「エイズになったかも」など、内容はさまざまだ。

3keys代表の森山誉恵さん(30)がこのサイトを開設したのは、

「子どもが専門機関に助けを求めるときハードルをなるべく下げたかったから」

厚生労働省が設ける児童相談所全国共通ダイヤルの子どもの利用率が全体の1%未満だという事実には、驚く人は多いのではないか。かけてくるのは基本的に大人だ。

「高校生の4割は「悩みがあつ

ても相談できる人がいない」という調査報告もあります。問口を広げて支援機関へアクセスしやすくする工夫がまずは必要だと感じました」(森山さん)

3keysは、ツイッター社と協力し、「死にたい」「助けて」などの言葉をつぶやく頻度が高い子どもたちの画面に、相談機関の広告を表示することで支援につなげる取り組みも始めている。

「子どもたちが、SNSでつい本音を漏らしてしまうのは、あの意味、現実世界が『狭い』から。彼らにとって学校や家庭は世界のほとんどすべてです。教師や親、友だちに相談することで自分の悩みや弱みが広がってしまうことをすごく恐れている。だからSNSが心のよりどころになっているという子は多いと思います」(同)

いじめの問題についても、同様の構造があるといえそう。ストップイットジャパン代表の谷山大三郎さん(35)は、匿名でいじめの報告や相談ができるアプリ「STOPIt」を運営。アメリカで開発されたもので、全国の学校や自治体に使用を呼びかけている。

現在は31校、1万6千人の児童・生徒が利用していて、18年4月からは7万〜10万人にまで増える見込みだ。

「自分がいじめられたこと、いじめを発見したことを匿名で報告したり、チャットで相談したりできます。相談先は、学校や教育委員会で、自動的に関係者全員に情報が届くので、すぐに問題に対処できるのも特徴です」

ネットいじめが減った

なぜ匿名なのか。谷山さんは、自身のいじめ体験を交えながらこう語った。



谷山大三郎 [35]

ストップイットジャパン株式会社／東京都中央区

いじめに苦しむ子どもたちが、匿名でいじめを報告・相談できるアプリ「STOPIt」を運営。千葉大学などと連携し、いじめに対する意識向上を図るためのモデル指導案や映像教材の開発・配布も行う

赤石千衣子[63]

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ／東京都千代田区
自身が非婚のシングルマザー。シングルマザー、ファーザーを対象に、全国各地で交流会やキャリア支援活動、相談会を行う。ひとり親を支援するサポーターの育成や、ひとり親家庭への「入学お祝い金事業」なども

阿部泰尚[40]

NPO法人ユース・ガーディアン／東京都世田谷区
電話やメールで、いじめ相談を受け付け、状況に応じた対処法をアドバイスする。深刻な場合は、自身が代表を務めるT.I.U.総合探偵社で事実関係を調査し、証拠を収集して、いじめの根本的な解決を図る

伊藤次郎[32]

NPO法人OVA／東京都新宿区
リスティング広告(検索ワードに関連して表示される広告)の仕組みを使って自殺リスクのある人の端末に相談先を表示。メールやSkypeなどで相談を受け、医療・福祉の援助につなげる「夜回り2.0」事業を行う

上木誠吾[39]

株式会社クリップオン・リレーションズ／大阪市
発達障害や不登校、引きこもりなどの問題を抱える児童を対象に、関西と東京で「あすはな先生」事業を運営。専門教育を受けた教員を家庭教師として派遣するほか、個別学習塾やソーシャルスペースも運営

佐伯剛正[68]

NPO法人森の学校／東京都中央区
里山の廃校や都市公園で自然体験プログラムを通年で実施。森、川、海、畑の四つのフィールドで体験教室を開催し、キャンプや釣り、イカダづくり、稲刈りなどの自然・創作体験を通じて、子どもの生きる力や心の豊かさを育む

白井智子[45]

NPO法人トイボックス／大阪市
沖縄でフリースクールの校長を務めた後に設立。教育委員会の委託を受け、不登校や引きこもり、発達障害などの児童の教育相談、個別指導、家庭訪問などを行う。在籍校の出席日数に認定されるスクーリングも

竹田和広[25]

武口翔吾[31]
一般社団法人ウィルドア／東京都大田区
キャリア教育に関する授業の企画・コーディネートを行う。学校にコーディネーターを派遣して授業をするほか、漫画を活用したキャリア教育を実践。地域のリーダーとなる人材を育成する事業も

平岩国泰[43]

NPO法人放課後NPOアフタースクール／東京都港区
長女誕生をきっかけに、放課後の学校で料理やスポーツ、音楽、アートなど多様なプログラムを体験できる学童保育「アフタースクール」を開始。地域住民を市民先生として招き、社会全体で子育てする仕組みづくりを進める

藤代 聡[51]

株式会社ママスクエア／東京都港区
キッズスペース付きオフィス「ママスクエア」を全国18カ所に展開。子どもを保育園に預けられない親もキャリアを継続できる。オフィスには保育士、キッズサポートスタッフが常駐し親は子どもと一緒に出勤する

李 炯植[27]

NPO法人Learning for All／東京都新宿区
経済的困窮などで学習に困難を抱える子どもに無償の学習指導プログラムを提供。学校や自治体と連携して子どもを集め、小学校高学年から中学生に主に英語と数学(算数)を指導。2010年からのべ5千人の子どもを支援

「小5から中3ぐらいまで、いじめを受けていましたが、『助けて』と言えなかった。両親に迷惑をかけたくない気持ちもあったし、周りからかわいそうと思われるのも嫌でした。だからつらくても耐えてしまった」
でも、いまの子どもたちにはそんな思いをさせたくない、と谷山さんは言う。
「匿名なら、自分のように悩みを抱え込んでしまう子でも利用しやすいと思うんです」
匿名とはいえ、学校名と学年はわかるようになっていて、組織的に対処することも可能だ。「STOPi」を導入することでいじめ問題に対する意識が向上し、いじめ予防や抑止の意味でも効果があったというケースもある。実際、アプリを導入した千葉県柏市の中学校では、前年度に比べ、ネットいじめの発生件数が25%ほど減った。

「私の願いは『STOPi』が必要なくなる。ツールに頼らず、子どもたち自身が自覚をもって、いじめをやめたり、止めたりできる社会にしていくことが、私の究極の目標ですね」

自治体のデータを活用

ここまで紹介したNPO法人や企業は、いずれも行政の手の届きにくい部分を、民間ならではの柔軟な発想力でカバーしようとしてきた。一方で、安定的な事業継続に課題があることも

確か。この意味で近年、挑戦的な試みが行われつつある。東京都文京区の「子ども宅食」事業だ。貧困家庭の子どもに、1〜2カ月に一度、食品を届ける。そこまでは他にも例があるが、注

目すべきは五つのNPO法人などコンソーシアムを形成したことだ。区長の成澤廣修さん(51)は言う。「NPO法人はさまざまな貧困支援のノウハウを持っています。が、家庭の貧困は外部からは見



成澤廣修[51]
子ども宅食／東京都文京区
文京区長。NPO法人などと連携し子どものいる生活困窮世帯に食品を届ける「子ども宅食」を展開。この事業への注目度は高く、2017年12月末時点で7800万円超の寄付をふるさと納税で集めた

えません。これまでは子ども食堂など『場』を提供するしかなかった。自治体が行っているデータを活用すれば、本当に支援を必要としている家庭にピンポイントでリーチできます」
運営はふるさと納税で
子どもたちを支援する上で、重要なポイントは二つ。
一つは、利用者に「恥ずかしい」という思いを抱かせないこと。もう一つは、申請手続きをできる限り簡単にすることだ。子ども宅食は、LINEアプリを利用してQRコードを読み込めば、簡単に利用の申し込みができる。食品の配送も、高齢者の宅食事業を行う宅配業者が担うため、周囲の目を気にする必要もない。運営資金を「ふるさと納税」で集めている点も大きなポイントだ。
このように、社会的課題に対して官民が連携してアプローチする手法を「コレクティブ・インパクト」と呼ぶ。
「渋谷区でも、ふるさと納税を財源として塾代の補助事業を行っています。これも同様の手法です。このスキーム自体は地域を問わず応用が可能だと思われるので、今後は教育だけでなく、障害者や高齢者の支援にもつながられるといいですね」(成澤さん)